

独り言

愛知県退職校長会会長

太田 弘

◆ 優先席のこと

私の上さんは、足掛け三年前から変形性膝関節炎を患い、両膝が不自由となった。外出する時は、杖か私のマイカーを頼る事となるが、電車やバスを利用する事もかなりある。そんな時車内での直立は困難であり、つい優先席に目が向いてしまう。しかし、悲しいことに学生や若者が席を占領している事が多く、恩恵を受ける事がほとんど無い。席を譲ろうという雰囲気も無く、周囲も無関心である。原因が何所にあるのか、残念でならない。

◆ 空缶・空ビンのこと

拙宅の近くの町道添いに若干の農地がある。以前は水田であったが、通行車輛から空缶・空ビンが頻繁に投げ込まれ、挙句の果てに上さんが割れた空ビンで足に大怪我をした。熟慮した結果、水田を埋立てて畑に変換してみたが、相変わらず投げ捨ては続いた。簡易の防護柵を設けてみたが役立たず、気が滅入る事しばしばであった。

同じ思いの農家は予想以上に多い。特に最近では捨てる物も大型化の傾向にある。マナーやルールは何所へいつてしまったのか。

ところで、二十一世紀を担っていくのに見合った人材育成のためには、教育改革を始め相応の段取りは必要であろう。

しかし、ここでは気になるのは、最近の子供達の基本的な生活習慣、分けてもルールやマナーが希薄になっていることである。それを立て直す事が喫緊の課題でなからうか。直面している教育改革の推進と並行してでも、その課題の解決を図るか、さもなければ課題の解決を最優先させるぐらいの勇断があってもよい。

確かに学力問題も大切であるが、敢て今話題の一つとして取り上げた、優先席や空ビンの例を看過するような事があってはならない。

教育の新生と再生のために、まずは退職校長先生方が、その事に関して、オピニオンリーダーとして立ち上がる時が来ている。

全連退総会に参加して

愛知県退職校長会副会長

安藤 和夫

平成十五年度全国連合退職校長会総会が去る六月十二日、東京の江戸東京博物館において開催され、太田弘県会長と県副会長の横井新治、三林貞夫、間井清の三氏と私を加えた五名が出席した。

総会の冒頭、全連退の土橋莊司会長は挨拶中で、なげかわしい事件が連続する現状を見る時、人間としてよりよい生き方のできる人格形成の重要性を痛感する。全連退は心の教育の充実、「教育の日」の制定等を目指す中で活力ある教育環境づくり、教育尊重の機運の高揚に努めたいと決意を述べられた。

来賓祝辞の中で文科省の宮川八岐視学官が教育の構造改革の理念をわかりやすくまとめれば①個性と能力の尊重、②社会性と国際性の涵養、③選択と多様性の重視、④公開と評価の推進に集約されると述べられたことが印象的であった。総会の総括として「教育の日」の制定、教育憲章の作成、生涯学習の推進、共済年金制度の堅持、組織の拡大・充実等の宣言が決議された。全連退設立四十周年を次年度に控えて記念事業実行委員会の設置も決定された。なお、間井副会長が全連退監事の退任に際して感謝状を受けられた。

全連退東海北陸地区協議会報告

愛知県退職校長会副会長

間井 清

平成十五年十月二十三日、全国退職校長会東海北陸地区協議会が三重県津市「ホテル・プラザ洞津」において開催され、愛知県は太田会長と私の二名が参加した。

全連退代表戸張常任理事は「教育の日」制定への動き、「教育基本法」改正への様子など挨拶で述べられ、その後、協議に入った。

東海北陸七県のメインテーマは、愛知県などが提案した「組織の活性化をどのようにすすめたらよいか」に焦点をあてて話し合われることとなった。

愛知県は平成十四年十一月に臨時総会を開き、組織の拡大を決定して、その実をあげてきた。しかし、本年度に入って県内の支部組織、すなわち郡市退職校長会の実態を調べた結果、県下十五郡、三十二市のうち八郡十七市の五三%がまだ組織されていないこと、さらに支部と県本部とのつながりがほとんどないことなどが判明した。

東陸協議会において、愛知県はこれらの様子を発表し、それに連動して、各県ともそれぞれかかえる課題を本音で出しあう熱のこもった協議となり盛会のうちに終了することとなった。

生き生きライフ

私の料理教室

平成十三年入会 山田 哲郎

「いただきます。」青少年センターの調理室に元気な声が響いています。今日は、サンシャイン138「適応学級」の卒業生を送る会の食事の始まりです。

定年を迎えた節目の年に、高校時代のクラス会が開かれました。この近況報告で料理を習い始めたことを話したのがきっかけで「愛しい人への料理コンテスト」に参加することになり、妻と料理の本を何冊も読み、献立を決めました。

うなぎのちらし寿司

里芋とイカの煮物

吸い物 抹茶寒天

写真とレシピでの一次審査の結果は合格でした。本番に向けて練習です。定年を迎えたといっても、第二の人生をカウンセラーとしてフルタイムで働いています。時間がないのが悩みでした。いよいよ本番です。自分のことで精一杯ですがたまに人の料理を見ると、彩がきれいでとてもおいしそうに見えます。いよいよ結果の発表です。「優勝、山田哲郎さん」と呼ばれた時は驚きました。

コーヒータイムにこの話を適応学級の先生方としている時に、卒業生を送る会でうなぎのちらし寿司を作ることが決まりました。当日はどの子もてきぱきと料理を作ります。中には「お母さんと家で作った。」という子もいました。家に閉じこもっていた子にはみえません。着実に成長しています。私の料理も役立ちました。家でも、復習のために料理を作るので喜ばれています。また、妻との会話も増えました。今も、若い娘さんたちと一緒に料理教室でがんばっています。

全国連合退職校長会

40周年「記念式典」並びに「祝賀会」
平成16年10月16日(土) 東京

あとがき

退職校長会『会報』第9号ができあがりましたので、お送りします。

今後の予定

一月十三日(火) 役員選考委員会
三月四日(木) 正副会長・常任理事会
三月十七日(水) 総会

愛知県退職校長会事務局
名古屋市中区新栄一の四九の一〇
愛知県教育会館六階
愛知県小中学校長会事務局内
電話番号〇五二二六六一八二五